

パートナーシップのチャンス! その後の連携・協働の動き

パートナーシップのチャンス!から生まれた新たな繋がり、育ちつつある連携・協働の提案…一過性のイベントで終わらせないためにも、その後の動きを追跡取材していきます。

◆新しい動きの一例

①参加団体同士の連携

「広瀬川河畔緑の少年団」と「NPO住まいづくり相談室」が、相互のイベント協力など連携した活動を行うようです。

②参加団体とMサポとの連携

「まえばし創業支援ネットワーク」の構成メンバーである日本政策金融公庫が、MサポのNPOセミナーとコラボし資金調達相談会を実施して下さることになりました。※3面参照

③参加団体と、行政・企業との協働の試み

「ぐんま光の学校設立準備室」が市長に提言したことから、市の関係各課(障害福祉課・産業政策課)や関連企業が連携して、新しい動きが生まれそうです。

他にも、「ちいむ ふろんとぶりっぢ」が30団体を自分のホームページを使って紹介してくださったり、様々な試みが生まれています。今後がますます楽しみです。

市長との対話が実現



第2回 Mサポカフェ 『七夕飾りワークショップ』

7月5日(土)、「みんなの思いがつながる七夕飾りをつくりましよう♪」をテーマに七夕飾りワークショップを開催しました。

Mサポカフェとは、市民の皆様にもっと市民活動を知っていただくために交流や学びの場として開催しています。

今回は、市内在住の美術作家・近藤愛子さんを講師に迎え、参加者それぞれの存在がつながり交わり、前橋の七夕の世界に元気に広がっていくようなイメージの作品を作りました。

前橋市立第三中学校美術部の生徒さんもお手伝いに駆けつけてくれ、参加者の方と共にMサポのこと、ボランティア活動の大切さを知ってもらうことができました。

作品は7月10日から13日までの間、前橋七夕まつり会場の弁天通りに飾られ、前橋の夜空を彩りました。



第3回 Mサポカフェ 『写真の撮りかたセミナー』

7月27日(日)、前橋市中央公民館で第3回Mサポカフェを開催しました。市民活動団体が情報紙やブログ等で情報発信するための写真を上手に撮るコツを、プロカメラマンの天川ひろし先生にご指導いただくという企画です。団体に所属されていない方にも広く呼びかけ、ご参加いただきました。

講義の前には、登録団体「萬屋レク之助」の角田さんが、ウォーミングアップとして、紙とクリップで出来る簡単マジックを教えてくださいました。

講義では、スナップ、子ども、スポーツ、風景、ニュース写真、ポートレート、集合写真などシーン別の基本的な撮影のコツや、ブレを防ぐ方法、構図、撮影のマナー等のお話があり、参加された31名の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

最後に、静物や人物を実際に撮ってみる実習を行いました。カメラの構え方や光を当てる工夫、ポートレートの立ち位置や撮り方を実際に試してみました。

先生は、自分のカメラの性能をよく理解すること、自分の視点で「伝えたい趣旨」を持った写真を撮ることの大切さを強調されていました。

ぜひ学んだことを活かして、素敵な写真を撮りましょう! ご参加ありがとうございました。

◆参加者の声

- ・撮り方の基礎知識が得られた。
- ・長く経験されてこられたプロの方で説得力がある。
- ・実際にカメラを使って撮ってみせてくれたのがよかった。
- ・技術以外の話も聞けて良かった。作品についての考え方等、とても勉強になった。



萬屋レク之助の角田さん



講師の天川ひろし先生



真剣にメモを取る参加者の皆さん



いざ、実践!

2時間でわかる! NPOの基礎セミナー

NPOとは何か、NPO法人の設立・運営についてわかりやすくお伝えします。

開催日: 9月6日(土)

時間: 18:00~20:00

場所: Mサポ 会議室

対象: 興味のある方

定員: 先着30名

参加費: 無料

内容: ①NPOの基礎知識 ②県内で活動するNPO法人のゲストトーク(ゲスト団体: NPO法人かけはし)



その他: セミナー後(20:00~20:30)、日本政策金融公庫前橋支店によるNPO資金調達相談会を開催。事前申込み制、4組まで。無料。※申込み多数の場合は抽選とし、結果を締切後にお伝えします。

申込み: Mサポへ、窓口・電話・FAX・メールにて「①氏名②住所③電話番号④参加動機⑤資金調達相談会希望の有無と相談したい内容」をお知らせください。FAXの場合は定員に達し、お断りする場合のみご連絡します。申込み期限は、8月30日(土) 19:00。

協働NEWS

「まえばし市民提案型パートナーシップ事業」提案募集

市民と市が互いに協力して課題解決に取組む「まえばし市民提案型パートナーシップ事業」。この協働事業の提案を募集します。市の負担額は1事業当たり上限80万円/年。お申し込みいただいた事業提案を、あらかじめ設置した「審査委員会」の審査を経て決定します。詳しくは募集要項をご覧ください。

◆募集内容: 日頃から課題だと感じていることを解決するための事業や前橋に役立つと思う事業を、市と協働で実施する形で自由に提案してください。

◆募集要項・事業提案書の配布: 市役所生活課、各支所・市民サービスセンター、市民活動支援センターで。前橋市HPにも掲載しています。

◆募集期間: 8月1日(金)から10月31日(金)まで。事業提案書など必要な書類を揃えて市役所生活課に郵送か直接お申し込みください。

◆まずはお気軽にご相談を

市役所生活課 ☎027-898-6510 (祝日を除く月曜から金曜8:30~17:15)

◆説明会: 8月12日(火)、19日(火) 14:00、19:00

(各回約1時間、申込不要)

場所: Mサポ会議室



シニア男性のための生き生き健康教室 (H26年度実施事業)

Mサポスタッフの

ぶら〜り ボランティア探しの旅 『前橋の地域若者会議』

7月15日(火)、前橋市内は夏日、あと少しで猛暑日に届くほどの暑さでした。その暑さにも勝る熱い、熱い、熱気に包まれている会議の状況を拝見することができました。それは「前橋の地域若者会議」です。

Facebookページを訪問してみると、会の活動趣旨が紹介されていました。

『前橋の若者たちが集まって、アイデアや意見を出し合い、地域の施設や自然などを有効活用し、前橋を活性化したり、さらに住みやすくしていこうという団体です。』

◆ミッション

- 参加者一人一人が楽しむこと
- 参加者一人一人をリスペクトすること
- 参加者一人一人が真剣であること
- 参加者一人一人が分かり合うのではなく確かめ合うこと
- そして一人一人が前橋を愛すること

同会議は、事務局を市の生活課が担い、26年1月から開始され、今回で5回目の開催とのこと。現在のメンバーは36人で、当日は23の方が参加されていました。

「個人」「みんな」「行政」「地域」の4つのチームに分かれ、前橋の活性化に向けた議論を交していました。特に、地域づくり交流フェスタの中で開催された「パートナーシップのチャンス!」のプレゼンがどのように具体化されているかの検証や、今後更に、繋がり、協働を拡張して行きたいとの発言もあり、心強く感じました。

「会議の場から具体的な行動へ」と、前橋地域づくり連絡会の鈴木委員長もお話しされていました。これからは、チーム毎にイベントや取り組みを行うとのこと。近々では、8月に赤城山での交流会、9月には「みんな」チームのメンバーが関係する「食とエネルギーの群馬スリム化フェスティバル」(※)にそれぞれのチームで出展する予定だそうです。今後の動向にも期待がふくらみます。 ※4面参照

